

キャリア振り返りシート ～採用からここまでの自己のキャリアを振り返りましょう。～

【所属園・校名】
【名前】

年度	採用年度 平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
所属校等	〇〇小学校						〇〇中学校					
研修歴	新規採用養護教諭 研修	2年次研修	3年次研修			6年次研修				教育相談支援 主任研修	中堅養護教諭資質 向上研修	
特に力を入れて 取り組んだ仕事の 概要	●養護教諭の仕事 内容の理解と実践 ●毎月の保健だよ りの作成 ○健康診断の円滑 な実施	●保健室経営計画 の作成 ●保健だよりに生徒 にタイムリーな情報 を掲載するよう努め た。	□スクールカウンセ ラーと連携 □保健室登校の生 徒へのカウンセリング	■効率的な保健室 経営の実践、家庭 連絡のマニュアル 作り	●掲示物の工夫改 善 □内科、外科、心、 に関して保健指導 用のリーフレットを 作成した。	■保健室来室児童 が自分の健康につ いて伝えたり考え たりできるようにした。 ○健康面で配慮の 必要な児童の把握 シート作成、担任と の情報共有	■感染症対策 ・保健室内の分け ・校内巡回、教室の 換気等の点検、指 導 ・学校医との連携に よる校内研修会の 実施	産休・育休			○教職員研修会の 実施 ・アレルギー対応エ ピペン講習 ◇校内の教育相談 体制を推進するた めの児童支援記録 シートの作成	
主な成果 身に付けた力 〈振り返りの視点〉 保健管理について ○ 保健教育について ● 健康相談について □ 保健室経営について ■ 校務分掌について ◇	・2人体制の大規 模校で養護教諭の 仕事を学んだ。	●校内環境や生徒 の健康管理の実態 に目を向けること ができた。	□SCと保護者、担 任をつなぐ役割を 果たす経験ができたこと ■関係機関との適 切な連携が生徒の よりよい支援につな がることがわかった。	■マニュアル作成に より、学校としてどの 教員も同じように対 応できるようになっ た。	○必要な生徒や保 護者に渡すことで、 受診の目安や注意 点を伝えることがで きた。 昨年に続き、家庭と 連携して生徒の健 康を守る取組を考え ることができた。	○必要な生徒や保 護者に渡すことで、 受診の目安や注意 点を伝えることがで きた。 昨年に続き、家庭と 連携して生徒の健 康を守る取組を考え ることができた。	○これまで以上に 学校全体に目を向 けた取り組みを行っ た。 ・学校医との連携を 図り、実践的な指導 を受けて、教職員に 周知した。				◇プレゼンテーショ ン資料作成の仕方 を身に付けた。自ら も事例をもとに再度 学びなおした。 ◇研修で学んだこ とを校内で実践す ることができた。	

得意分野・強み	<p>〈保健管理○、保健教育●、健康相談□、保健室経営■、校務分掌◇〉</p> <p>○適切な救急体制を実施するため、教職員研修会を実施し、校内全体の危機管理意識を高めるように連携している。</p> <p>●自分の健康は自分で維持できる児童の育成のため、毎月の保健指導資料の準備を行い、年3回の身体測定時には集団保健指導を実施している。</p> <p>□担任やSCと連携し、児童の実態把握に努め、連携した対応を考えようとする</p>	課題	<p>●保健指導実施後の評価が不十分、評価規準を明確にしたうえで指導を行い、児童の行動変容の実態を把握し、次年度の保健指導に生かすこと。</p> <p>■児童数1000人を超える大規模校のため、効率的な養護教諭間の連携。</p>	今年度取り組みたいこと、身に付けたい力	<p>□大規模校であるために、保健室に来室しない児童の心身の健康状態の把握が不十分である。特別支援教育コーディネーターや担任等と積極的に連携を図るようさらに努めたい。</p>
---------	--	----	--	---------------------	---